

りょうCaféのご案内

りょうCafé Zoom (オンライン)

- 8月6日(金) 20時～22時
- 9月3日(金) 20時～22時

その月の船橋市のニュース、議会や市役所内でのトピックを振り返り、その後、参加者の皆さんとざっくばらんに船橋市政に関して意見交換を行います。意見交換したいテーマなどについて事前にお知らせいただければ、その材料を準備しておきますのでご一報ください。オンラインで夜の開催ですので、ご飯を食べながらでも、お酒を飲みながらでも、自由なスタイルでお気軽にご参加ください。たまには政治のことをしゃべらナイト!お待ちしております。

*ミーティングID等は、事前に公式ホームページやSNS等でご連絡します。

*日時等の変更の可能性があるため、石川りょう公式サイト、SNS等必ずご確認ください。



プロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(現:広報委員長)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営学修士、TOEFL (CBT) 257点 (TOEIC 915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト (PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ビール検定2級、ふなばし市民大学学校平成26年度ボランティア入門学科



▲富里のすいかをいただきました!

連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

石川りょう公式サイト
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。

発行者: 石川亮
住所: 船橋市芝山3-26-1
携帯電話: 080-6575-4711
固定電話: 047-463-2690
メール: info@ishikawaryo.net

この通信でご紹介できている活動内容は、ほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りょうのブログを是非ご覧ください。

石川りょう アメブロ で検索! または、QRコードはこちら



船橋市議会議員 無所属

石川りょう通信

Vol.37 討議資料

会派「飛翔」の結成と、新しく所属する委員会

4年間の船橋市議会議員の任期の折り返しを迎え、後半の2年間のスタートを切るにあたり、新しい会派「飛翔」を結成しました。メンバーは、齊藤和夫議員(代表)、宮崎なおき議員、大沢ひろゆき議員、米原まさと議員、佐藤つぐみ議員、そして、石川りょうの6人です。議会と執行部(市役所)とは、馴れ合いではなく、相互の抑制と均衡による緊張関係を保って善政競争を行うという二元代表制の趣旨に倣い執行部に対しては是々非々の立場で臨みます。市民の皆さまに対しては、一方的に発信するだけでなく、相互のコミュニケーションをとれるように広聴にも力を入れていきたいと考えています。議会に対しては、その役割を十分に発揮するために必要な権能の向上(議会改革)に努めていきます。船橋市の発展と市民の皆さまの福祉の増進のために尽力します。

【石川りょうが新しく所属する委員会】

(1) 広報委員会(委員長)

船橋市議会の広報公聴活動を担います。委員長として、委員会や議会全体による市民の皆さまとの意見交換会や議会報告会、公聴会の実施など、市民と議会との相互コミュニケーションを図る機会を設けていきたいと考えています。

(2) 議会運営委員会

定例会の日程調整や本会議の進行確認などが主な仕事ですが、議会改革に関する事項なども検討する委員会。船橋市議会全体の発展のために尽力します。

(3) 文教委員会

教育行政に携わることが念願でした。コロナ禍における教育活動、動き始めたGIGAスクール構想、オンライン教育、ブラック校則、部活動、いじめの問題などに取り組みたいと考えています。



会派ってなんだろう?

会派とは「議会で政治上の政策・主義・目的などを共有する議員が集まった団体のこと」と一般的には理解されています。同じ政党に所属する議員同士が結成する場合がありますし、我が会派「飛翔」のように超党派で結成している場合もあります。各委員会の委員数や、発言・質問の時間配分などは、会派の所属議員数によって左右されるので、会派の人数が多い方が有利となるシステムになっています。



▲新会派「飛翔」

海老川上流地区のまちづくり（船橋メディカルタウン構想／組合施行の土地区画整理事業）

これまでの船橋市の説明では、海老川上流地区のまちづくりが実施される条件は、地権者の同意率が90%を超えることでしたが、同意率は人数ベースでは90%を超えたものの(90.1%)、面積ベースでは90%に至りませんでした(87.3%)。しかし、船橋市は本事業を実施する方向で進める判断をしました。本市がそのような決定をした理由は以下の通りです。

市の中央部に位置し、中心市街地にも近く、東葉高速線が東西に走る便利な場所に、令和8年度の医療センター開院の可能性が高く、地域医療や高度医療が持続的に提供できる。また、医療と健康をテーマにしたメディカルタウン構想が実現されることで、新たな拠点形成が可能になり、今後の市の発展に寄与する。

本事業をこれから進めていくにあたって懸念されるリスクと対応策は右の表のように想定されます。

この考察からわかるように、海老川上流地区のまちづくりは、遅延の可能性があることと、市が思い描いているメディカルタウン構想が実現するかどうかはわからないものの、少なくとも、医療センターの建替えや新駅設置、公園や道路の整備を含む土地区画整理事業に関しては法律的にも技術的にも実現は可能と思われます。

最終的に本事業を実施するか否かを決定するのは船橋市の最終議決機関である議会です。私は財政の観点から判断しようと考えています。本市の将来財政推計(一般会計)は右の表のとおりです。これまで通りの行政運営を行った場合、本市の歳入と歳出の差額は、来年度で約50億円の赤字となり、再来年度以降は60億円を超える予想になっています。これは必要な時に必要な支出ができない危機的な状況です。確かに、本市の貯金(財政調整基金)は、コロナ禍で国から多額の補助金が入ってきた関係もあり、約150億円に増えました。しかし、この推計通りにいくと、令和6年度に枯渇することが予想されています。海老川上流地区のまちづくりにかかる費用(土地区

海老川上流地区のまちづくりを進めるにあたって想定されるリスク	
(1) 医療センターの整備に関して	
リスク	医療センター建替え予定地内の地権者の換地先に対する不満や反対により合意形成ができず、予定している令和8年度の開院が遅れるのではないかと？
対応策	土地区画整理事業の法的性質上、仮換地指定を行えば、医療センター予定地は土地区画整理事業組合の管理地となるため、直後から造成工事を行うことができる。仮換地指定を行うための基準は、地権者(約200名)から選ばれた総代(約25名を予定)の過半数が出席すれば成立する総代会の過半数で決めることができる。
(2) 東葉高速線の新駅の開業に関して	
リスク	新駅の予定地内で同意を得られていない地権者が存在するため、新駅の開業が目標の令和8年度から3~4年遅れてしまうおそれがあるのではないかと？
対応策	医療センター建替え予定地と同様に、仮換地指定さえ行えば事業予定地は組合の管理地となるため新駅の工事は実施できる。しかし、仮換地指定に時間がかかると、新駅の開業が遅れてしまう可能性は残っている。
(3) 事業費の確保に関して	
リスク	仮に新駅の開業が遅れる場合、医療センター予定地の保留地価格が下落する可能性があり、組合が事業の推進に必要な資金を確保できず、事業計画が成り立たなくおそれがあるのではないかと？
対応策	保留地価格が下落した場合でも、土地区画整理組合と業務代行予定者(株式会社フジタ)は資金計画を変更する(保留地売却価格を調整したり、工事の支出を抑えたりする)などあらゆる手段で資金確保に努める。それでも確保できなかった場合には、最終的に業務代行予定者が責任をもって保留地を買い取るにより必ず資金を確保すること。
(4) メディカルタウン構想の実現に関して	
リスク	本事業が、保留地を売却して地権者と業務代行予定者の利益を確保することだけが目的の単なる土地区画整理事業となってしまう、船橋市が目指すメディカルタウン構想が実現されないおそれがあるのではないかと？
対応策	土地区画整理組合と業務代行予定者からは、構想実現のため最大限の努力をされると言われているが、あくまで努力であって責任が担保されているわけではない。

画整理事業補助金:約56億円、新駅設置費用:約65億円
 新病院建設費用:約437億円、うち一般会計259億円)の影響が出てくるのは令和7年度以降。船橋市はすでに令和元年度と2年度の2か年をかけて行財政改革に集中的に取り組んでおり、ここから捻出された効果額は約22億円でした。しかし、この額では、今後発生が予想される赤字額の補填には不十分です。市はさらなる行財政改革と

言うものの、その具体策はまだ示されていません。議会が本事業の可否の判断を迫られる時期は、今年の12月以降です。それまでに船橋市(役所)から、「海老川上流地区のまちづくりを実施するため、いつまでにいくらの歳出削減を達成して収支の赤字を解消し、健全に財政を運営できるようにします」という戦略(方針)が具体的に示されて納得できない限り、私は本事業の実施に賛成することができません。

▼ 船橋市の将来財政推計(令和3年6月発表)

	(予算)		(推計)									
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
歳入総額(A)	211,757,800	216,201,147	209,237,218	210,095,877	213,896,477	211,119,278	211,156,023	211,874,618	212,402,716	212,192,481	211,319,616	
国庫	97,808,900	98,800,380	101,551,180	101,551,180	102,086,560	102,858,460	102,145,586	102,779,660	103,196,180	102,558,380	103,090,860	
道県支金	58,382,500	52,024,146	52,633,549	52,227,831	54,113,520	54,120,903	53,881,875	54,947,817	54,979,209	55,144,550	55,103,242	
特別徴収基金繰入金	3,500,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
調整基金繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	76,132	445,997	235,679	
前市(県)公共施設整備基金繰入金	0	324,476	489,315	482,689	136,053	137,835	541,207	305,697	278,823	126,685	0	
市債(償還済分除)	12,326,900	15,169,800	14,895,200	13,635,600	13,914,400	13,418,000	13,229,400	13,007,000	12,802,700	12,725,800	11,968,300	
繰上繰上償還金	4,043,000	4,768,296	7,776,400	7,524,200	8,390,200	7,303,000	6,920,600	6,905,200	6,917,300	6,487,700	5,888,500	
繰上繰上償還金	8,283,000	8,401,696	7,088,600	5,711,400	5,524,200	6,115,000	6,308,800	6,101,800	5,985,400	6,238,100	6,079,800	
その他	39,639,400	43,782,384	39,697,389	41,213,396	40,430,944	40,784,800	41,358,181	40,934,442	40,969,686	41,101,489	40,915,429	
繰上繰上交付税	3,706,900	3,752,996	3,196,566	4,443,463	4,297,797	4,757,430	4,908,201	4,747,156	4,856,003	4,853,184	4,730,051	
歳出総額(B)	211,757,800	216,272,218	215,946,006	216,105,246	218,841,179	216,399,073	216,766,887	216,774,976	216,266,356	216,085,144	215,818,797	
人件費	39,270,827	39,377,575	40,114,215	38,669,834	39,261,070	38,959,826	39,898,104	39,026,456	38,796,990	39,279,816	39,147,336	
経費	60,582,760	62,290,586	63,438,131	64,282,219	64,782,939	66,019,875	66,246,387	66,110,153	66,279,367	66,416,390	66,553,894	
公債費(償還済分除)	17,110,149	17,780,579	17,725,100	17,427,182	17,297,395	17,591,134	17,538,459	17,527,428	18,026,132	18,445,597	18,235,679	
普通建設事業	8,274,707	13,808,452	15,241,244	15,657,472	17,687,019	15,010,344	14,581,319	17,221,262	14,463,990	13,728,767	13,353,702	
その他	66,606,167	82,015,062	79,279,218	78,669,896	79,582,760	78,806,064	79,302,413	78,898,627	78,448,890	78,214,594	78,228,234	
繰上繰上	18,957,227	19,216,679	20,641,446	20,664,692	21,051,700	20,933,352	21,398,809	20,878,138	20,895,297	20,278,903	20,242,494	
収支差額	0	▲ 6,071,071	▲ 6,710,790	▲ 6,009,369	▲ 7,984,692	▲ 5,295,795	▲ 5,910,864	▲ 6,799,461	▲ 3,862,649	▲ 3,893,683	▲ 4,205,277	